未来に翔け 子供たちの力

令和3年度仙台市児童・青少年健全育成大会に向けて

11月は「子供・若者育成支援強調月間」です

この『子供・若者育成支援強調月間』は、子供・若者の育成支援を家庭を中心として、行政・学校・企業・地域等、社会全体で取り組むべき課題と位置づけ、全ての子供・若者が健やかに成長し、全ての若者が自立・活躍できる社会の実現を目指すものです。

全国各地で広報啓発活動や各種行事の開催、顕彰等の実施などが積極的に取り組まれています。

子供たちの「頑張りと元気」

毎年11月に、市内で活躍する児童・青少年によるステージ発表を行い、子供たちが学校や地域で元気に活躍する姿を、多くの方にご覧いただきたいとの思いから、当実行委員会と仙台市で「仙台市児童・青少年健全育成大会」を企画・運営しております。

令和2年度については、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、残念ながら大会が中止となりました。今年度、出演予定であった学校を当実行委員会のメンバーが訪問取材し、パンフレットを作成しました。

コロナ禍でも活動している児童・青少年の姿、子供たちの「頑張りと元気」を皆さまにお伝えできればと思い発刊いたしました。

是非、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

仙台市児童・青少年健全育成大会
実行委員会
会長　鈴木　絹代

「令和元年度 仙台市児童・青少年健全育成大会」

▲令和元年11月23日(土・祝)
日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
開会式の様子

【発行】令和２年 11 月発行 仙台市児童・青少年健全育成大会実行委員会
仙台市青葉区錦町一丁目３番９号 仙台市子供未来局子供育成部子供相談支援センター内
Tel.022-214-8602　Fax.022-262-4761

【令和3年度出演予定】
仙台市立上杉山通小学校 吹奏楽部

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目10番1号　Tel.022-221-3392 Fax.022-221-3416

躍動感あふれる演奏に、思わず「笑顔」

仙台市立上杉山通小学校は明治6年（1873年）に開校し、今年147周年を迎えました。吹奏楽部は、昭和48年（1973年）に創部され、今年で47年の歴史ある部活動です。

10月には36名の部員が入部し、3年生から6年生までの児童と、顧問の先生を合わせて総勢79名の大所帯となりました。平日の朝と、土曜日の午前中に練習をしています。

吹奏楽には様々な楽器があり、吹いたり、叩いたりして一人一人に合った楽器を担当します。初めは上手に演奏できないこともありますが、先輩に優しく教えてもらったり、一生懸命練習したりすることで、できることが増え、みんなが楽しく活動しています。

毎年、入学式や学習発表会などの学校行事で演奏したり、吹奏楽コンクールなどの大会に出場したりしています。昨年度は、県大会で最優秀賞を受賞し、東北大会では2年連続の金賞を受賞しています。

取材の最後に、アニメ「ちびまる子ちゃん」の主題歌『おどるポンポコリン』の演奏を聴かせていただきました。曲に合わせてみんな楽しそうに吹いており、躍動感あふれる演奏に思わず「笑顔」になりました。

児童インタビュー　工夫していること、大変なこと、楽しいことはなんですか？

「管楽器は、指使いを覚えるのが大変です。息の吹き込み方によって、音程が変わるので舌の使い方を工夫しています。」

「毎日の練習を通して、学年を超えて仲良くなり、チームとしてまとまりが良くなりました。」

「自分たちが楽しんで演奏している姿をみて、聴いている人たちが、喜んだり、感動したりしてくれるのがうれしいです。」

「思うように吹けず、悩むこともありました。でも、みんなで乗り越え、東日本大会で金賞を受賞したときは、とてもうれしかったです。おかげで自信もつき、楽しく活動しています。」

大会のお楽しみ❶ プロの演奏家〔令和3年度出演予定〕

〈 **浅野　祥** さんからのメッセージ 〉

私が演奏している津軽三味線と、それに欠かせない音楽・民謡はその時代の人々の想いが唄われている音楽です。令和の疫病に直面し、大地の恵みへの感謝、人とのつながりへの感謝を改めて胸に刻みました。先人たちもまた同じような波を乗り越え、現代に命を繋いできてくれました。様々な日本の芸能を通して再認識するとともに感謝の念を抱きました。時代に合わせて変わるものもあれば変わらないものもあります。音楽に対する皆さんの情熱を来年に繋げ、どうか会場でお会いできた際にはそのパワーを一緒に爆発させましょう！楽しみにしています！

取材後記

先生方の丁寧でわかりやすい指導は素晴らしいと感じました。先輩が、後輩に寄り添い、演奏の仕方を教えている光景が微笑ましかったです。

【令和3年度出演予定】

仙台市立鹿野小学校（かのっこ支倉伝承太鼓）

〒982-0023 仙台市太白区鹿野二丁目9番1号　Tel.022-248-1460 Fax.022-248-4731

心に響くリズムに「勇気」が沸いてくる

今から18年前、学習発表会で4年生の太鼓のご指導をしていただいていた、地域にお住いの安倍ヒサ先生からの「宝くじ助成金を活用し、太鼓を購入してみんなでやってみたら…？」という声がけが始まりでした。安倍先生は、川崎町支倉地区の生まれで、「宮城蔵王支倉豊年踊り」の踊りと太鼓の継承者です。

「宮城蔵王支倉豊年踊り」は、支倉常長が慶長遣欧使節として旅立ちの際にも、踊られたと伝えられています。

現在、日ごろの練習の指導者は、かのっこのメンバーで、その他中学生が小学生に指導するというスタイルで活動を繋いできています。メンバーは、小学生から大人まで40名程ですが、中心は小学生で、現在活動に参加するのは15名程度です。保護者からの問い合わせも多く、人気がある活動とのことでした。今年は、新型コロナウィルスの影響で練習ができませんでしたが、やっと10月28日から練習を再開しています。発表の場は、運動会や夏まつり、各町内会のお祭りなどですが、学習発表会でいつも４年生が太鼓をするので、低学年の児童は、4年生になったら太鼓ができることを楽しみにしているとのことでした。

取材の最後に、太鼓の演奏を私たちに聴かせていただきました。12人の児童が6台の太鼓を同じリズムで真剣に叩く姿、心に響くリズムに「勇気」が沸いてきました。

児童インタビュー　工夫していること、楽しいことは何ですか？

「お母さんからの勧めで始めました。楽しいです。」
「今年から始めましたが、楽しいのでもっと早くからやればよかったと思います。」
「運動会でみんなの前で発表できたことが、うれしかったです。」
「リズムをとるのが難しいですが、リズムを合わせていると楽しいし、歴史があるので自分の心にも重く響いてきます。」
「今は 6 年生としてちゃんと練習して、中学生になっても大会まで練習してみんなと頑張っていきたいです。」

取材後記

校長先生から聞いた、支倉繋がりの太鼓を広く披露するということは深い意味があるのでは、というお話が心に大きく響きました。来年の大会で、コロナを乗り越えて明るい気持ちで、かのっこ支倉伝承太鼓を心から楽しめたらと思います。

大会のお楽しみ❷ 少年の主張 各区最優秀賞受賞者発表

「少年の主張」は、子供たちが日頃感じていること、悩んでいること、大切にしていることなどの意見を発表するものです。青少年にとっては、同世代の考えを共有できる場として、また、大人にとっては、中学生時代の自分の考えを振り返る場として、仙台市では、例年8～9月に区ごとの大会が行われます。大会では、各区の少年の主張大会で最優秀に輝いた5名の生徒さんが発表しております。

【令和3年度出演予定】
宮城県仙台南高等学校 音楽部合唱団

〒982-0844 仙台市太白区根岸町14−1 Tel.022-246-0131 Fax.022-246-0132

心にしみる「感動」の歌声

仙台南高等学校音楽部合唱団は、昭和52年（1977年）の開校時から活動をしており、現在、合唱部員は17名、木曜日と日曜日を除く放課後に集まり2時間ほど練習をしています。コンクールに出場する際、部員たちで選曲するなど、エネルギッシュで自主的な活動をしています。

取材当日も、2年生の音楽監督を中心に、準備体操、発声練習を行っておりました。

東日本大震災後に作られた「わせねでや」を県内外や国外にも、歌声を届けている一方、各種コンクールで常に上位の成績を収め、東北大会や全国大会出場の実績のある部で今年は東日本合唱コンクールの予選を経て東京大会で8位に入賞し、奨励賞を受賞しております。

最後に、一番好きな楽曲を教えてくださいと聞いたところ、「わせねでや」という歌が好きと答えてくれました。この曲は、東日本大震災からの復興を願う曲で、今回、訪問した私たちに聴かせてくれました。

「わすれないで」という思いのこもったこの曲の合唱が終わり、聴いていた私たちには、情景が浮かび上がり、歌に引き込まれ心にしみる良い曲で、歌声に「感動」いたしました。

生徒インタビュー 楽しいこと、大変なことはなんですか？

「部員のみんなと逢って歌うこと、市民の皆さんの前で歌ったとき、幸せそうな表情をして聴いてくださることが、うれしいです。」
「何度も同じ曲を練習することや、曲を表現するのが難しくてつらくなることがあります。
でも、繰り返し歌うことにより、表現の仕方や情景が浮かび心を込めて歌うことが出来たときは、楽しくなります。」
「練習する時にマスクをつけて歌うのは、大変です。」

取材後記

令和3年度に開催予定の「仙台市児童・青少年健全育成大会」では、「わせねでや」がプログラムに入ると思います。この歌を聞くだけでも大会を観覧してよかったと思うでしょう、今から大会が楽しみです。

編集後記

コロナ禍の中、快く取材に応じていただきました学校の先生、生徒、児童の皆さま、ありがとうございました。すばらしい演奏・歌声を聞かせていただき実行委員会メンバーとして「笑顔・勇気・感動」をもらいました。

来年は、ステージで思いっきり練習の成果を披露していただくことを心待ちにしております。来年度は、11月20日（土）に開催を予定しております。出演団体、来場者の皆さまとお逢いできますことを楽しみに準備を進めてまいります。

【実行委員】
鈴木　絹代／玉生　照明／及川　昌巳／嶺岸　若夫／阿部　春美／木下　るり子／國吉　信子／河合　節子／
菅原　勲／関谷　ユキエ／久保田　ひかり／柴田　英子／佐藤　富美子／佐藤　輝子／阿久津　正美／丹野　由紀